

# 令和元年度 第1回 明石市財政健全化推進協議会

## 議事録

日時 令和元年（2019年）7月29日（月） 10:00～11:00

場所 議会棟2階大会議室

明石市

## 次 第

- 1 令和元年度の体制について
- 2 あいさつ
  - (1) 宮坂座長
  - (2) 宮脇副市長
- 3 出席者自己紹介
  - (1) 市議会・・・三好委員より順に
  - (2) 市行政・・・和田副市長より順に
- 4 議事
  - (1) これまでの財政健全化の取り組みについて
  - (2) 本年度の財政健全化推進協議会の進め方について
- 5 その他

### 【資料】

- |      |                          |
|------|--------------------------|
| 資料 1 | 明石市財政健全化推進協議会設置要領        |
| 資料 2 | 明石市財政健全化推進協議会 委員名簿       |
| 資料 3 | これまでの財政健全化の取り組みについて      |
| 資料 4 | 財政健全化の令和元年度の取り組みについて     |
| 資料 5 | これまでの市議会からの提案についての市の考え方  |
| 資料 6 | 令和元年度の財政健全化推進協議会の進め方について |

---

出席者	委員 市議会側 宮坂座長、三好議員、松井議員、吉田議員、筒泉議員、出雲議員
	委員 行政側 和田副市長、宮脇副市長、横田政策局長、中島総務局長、箕作財務部長、北條教育局長
	委員以外の出席者 丸山政策室長、島瀬総務管理室長、中原職員室長、小西参事（財政健全化担当）、藤原財務担当課長、松永財政健全化担当課長当課長
傍聴者	なし

## 1. 令和元年度の体制について

箕作財務部長より資料1、資料2について確認

## 2. あいさつ

### (1) 宮坂座長

座長：本市の財政状況については、市税収の増加や主要な基金の残高の増加といった、一定の良好な状況も見出しつつあるところである。しかしながら今後、市役所庁舎の建替えや、新ごみ処理施設の建設といった数百億円規模の大型事業も控えているところであり、現在の状況に安心することなく、将来を見据えた健全財政の実現向け、引き続き不断の努力を重ねていくことが重要である。各委員には積極的に議論していただくとともに、各会派内でも積極的に議論いただき、会派としてとりまとめていただいた意見についても、協議会で議論をしていきたいと考えているのでよろしくお願いしたい。

### (2) 宮脇副市長

宮脇副市長：財政健全化の取り組みについては、過去ピーク時170億円を超えていた基金が、一時70億円にまで落ち込むなど、非常に厳しい財政状況を踏まえ、総人件費の削減等、経費の削減、歳出の削減を中心に取り組んできた。本協議会を通じた議会のご理解と、市民の皆様のご理解のもと一定の成果を上げてきた。加えて、近年では子供を核としたまちづくりと、誰もが安心して暮らすことのできるやさしいまちづくりを進めることで人口が増え、まちのにぎわいや税収が増加し、それを財源としてさらなる施策展開が可能になり、それによってまちの魅力が一層向上するという好循環が拡大してきている。これからはさらに、SDGs未来安心都市明石ということで、いつまでも誰にも優しいまちづくりを一層推進して、この好循環をさらに拡大し、まちの持続可能な発展につなげ、財政面においても持続発展可能な財政の構築を図りたいと考えている。こうした中、ひとつの大きな課題となっているのが、座長からもお話のあった新庁舎、新クリーンセンター等もふまえた、公共施設のあり方と考えている。従来の施設の保全建て替えも含め、将来的なコスト負担を考えると、財政に及ぼす影響は多大なものがある。本協議会において、従来の市役所内部の取り組みはもとより、こうした公共施設のあり方を中心にご議論いただくことになろうかと思うが、市議会側、行政側とも新たな体制となっていることもふまえ、これまでの観点とともに、新たな発想、新たな考え方で協議を行っていければと考えているので、1年間よろしくお願いしたい。

## 3. 出席者自己紹介

#### 4. 議事

##### (1) これまでの財政健全化の取り組みについて

松永財政健全化担当課長より資料3、資料4、資料5について説明

座長：ただいま、説明のあった件について、何か意見や質問があればお願いしたい。

委員(議)：資料5の18ページ「これまでの市議会からの提案についての市の考え方」の  
人件費の削減について、「中核市移行に伴う県からの権限移譲により、一定の職員数の増要因がある一方で、民間活用や業務改善等により総職員数の減員に取り組んでいるところだ」とある。人員削減については、業務を効率化した、事務事業を見直した、それにより人員を削減したという順序で考えられるべきものだと思う。1,800名体制に向け、正規職員から任期付職員、再任用職員への置き換えが進んでいる。目標があるから減員していったのか、効率化等が進んだから再任用職員等に置き換わっていたのかにより見方は変わってくる。効率化等が進んでいないのに非正規化が進んだのか、効率化や事務事業を見直したから数が変わっていったという形なのかが見えるように示してもらいたい。また、総職員数は本当に変わっているのか、任期付職員や再任用職員の数が出していないので、そういった数も示してもらいたい。

出席者(行)：確かに財政健全化の資料に示している数字は正規職員のものである。市としては、任期付職員や再任用職員も活用しながら進めていく必要があると考えている。引き続き、業務量や県からの権限移譲の業務もふまえた中で、適正な職員数を検討していきたいと考えている。

委員(議)：総職員数の中に任期付職員、再任用職員も含めた数を示すことはできないのか。

出席者(行)：正規職員、再任用職員、任期付職員を含めた職員数については、中核市移行までは減員していたが、中核市に移行してからは、業務増もふまえる中、横ばいとなっており約2,900名となっている。

委員(議)：職員数は、正規職員、再任用職員、任期付職員もきちんと示すべきと考えている。また、少ない土木職などの技術職の人材をどのように確保するのか、具体的に議会にもわかるようにしてほしい。専門性の仕事には、これまでの経験を活かせるよう、退職者も活用していくべきと考えているが、どうか。

出席者(行)：技術職については、業務全体の見直しを進める中で、技術職が担うべき業務を精査しながら、民間委託も含めて見直しに取り組んでいる。今年度も、技術職の採用試験を行っており、6名募集のところ46名の応募をいただいている。この

数字については、近隣他都市と比べても多く、積極的に周知活動を行ってきた成果と考えており、引き続きしっかりと人材を確保するための採用活動を行っていききたい。また、技術の継承を行うためにも再任用職員の活用は必要であると考えている。

委員(議)：資料5の11ページ「産業振興の推進」について、いろいろな取り組みを市役所でもしていただいている。明石市の将来を考えると、財政健全化だけではなく、工業、農業、漁業の人材育成が重要だと考えている。先日、民間企業が男女共同参画課と一緒に企画して、理工系を目指す小中学生の女の子を対象に活動を行った。就職などによる市外への人材の流出の対策も市役所としては考えていってほしい。

委員(行)：工業、農業、漁業等の人材育成については、今年度から新たに農業等に取り組む方が視察に行ける制度を設けている。また、市外への人材の流出を食い止めるため、民間企業との協力もふまえながら、検討していきたい。

委員(議)：資料5の3ページにある小学校のことだが、今後子どもが増え、児童数が偏る小学校も出てくると考えるが、どのように考えているか。

委員(行)：人口が増えている大久保地区、西明石地区の一部の小学校については児童が急増しているところがある。このうち大久保小学校については、以前より千人を超える大規模校であり、対応してきている。児童数が増えているのは、山手小学校、沢池小学校であり、山手小学校はここ2～3年でピークを迎え、その後は減少傾向、沢池小学校は今後しばらく増える傾向だが、しっかりと児童が学べるよう教室の確保等、教育環境を整えていく準備をしている。

委員(議)：資料5の4ページにある小学校の授業で民間プールを活用することについて、プールを整備していくために多額な費用がかかるということで提案したところ、今後研究していくということだったが、その後いかがか。

委員(行)：全国でも実施数は少ないが、学校外のプールで水泳指導を行っている事例はある。そのような事例を研究しているところだが、実施するには民間の受け皿の部分で自治体によって事情が異なる面がある。また、大きな課題として、移動時間、その間の安全確保などについて検討する必要もある。現在のところ、小学校のプールで改修、改築を予定しているところはなく、使用できる間は現在のプールを活用していきたいと考えている。

委員(議)：今後、改修等は必ず出てくる問題である。屋外の場合、猛暑や雨で授業が実施

できない場合もある。屋内プールであればそのような問題もないため、移動時間等の問題はあると思うが引き続き検討してほしい。

座長：他に、意見や質問はないか。

委員(議)：資料5の5ページにある市営住宅について、空き部屋があると聞いている。空き部屋を有効利用することについてどのように考えているか。

出席者(行)：市住の入居率はデータが少し古いかもしれないが、8割強と聞いている。空いた部屋があれば、年間に数十個程度、入居者の追加募集を実施している。老朽化等により、追加募集を行っても、応募がなく空き部屋となっている部屋については、公共施設配置適正化実行計画においても、用途廃止を含めた有効活用について定めている。現在のところ、貴崎でグループホームとして活用している事例等がある。引き続き、どのような活用が考えられるか検討していきたい。

委員(議)：市営住宅について、民間のマンションでは、リフォームして、若い世代が購入する事例もあると聞いている。利便性のいいところであれば、ニーズもあるのではないかと思うので、また検討していただきたい。

座長：他に、意見や質問はないか。

委員(議)：あかし斎場旅立ちの丘の指定管理について、どのような状況となっているか。

出席者(行)：あかし斎場については、現在、来年4月から火葬場、式場を一括して指定管理者制度を導入する手続きを進めているところであり、順調にいけば、次の9月の議会で指定議案を提出させていただく予定である。

委員(議)：斎場で勤務している職員の異動についてはどのように考えているのか。

出席者(行)：配属されている技能労務職員については、斎場での勤務を前提に採用されることもあり、他の部署への配置については、職員への意向調査も行い、実施していきたいと考えている。

委員(議)：資料5の9ページ、大久保北部遊休地の活用促進について、そもそもなぜこの土地を取得したのか。

出席者(行)：何度かに分けて取得してきたが、そもそもは昭和40年代、今の線引き制度ができる以前に住宅開発を目指して取得したものと聞いている。

委員(議)：この遊休地をどのように生かすかがポイントだと考えている。播磨臨海道路が周辺を通るのであれば有効利用できるのではないかと。また、市街化調整区域を用途変更することも含めて検討していただきたい。

委員(行)：飛び地になっており、課題が多いと考えている。また、市街化調整区域ということについては、難しい課題で軽々にこのようにしたいということとは言えないが、引き続き検討していきたい。

座 長：他に、意見や質問はないか。

委員(議)：資料5の4ページ、大蔵海岸施設について、賑わいが生まれるのはいいことだが、モラルが悪くなっているように見受けられる。経済が良くなっても、モラルが悪くなるのは良くない。どのような考えを持っているか、

出席者(行)：地域の活性化だけではなく、いかに快適に利用してもらえるかが大切であると考えている。大蔵海岸については、魅力の高い場所でもあるので、民間企業や警察とも連携しながらしっかりと取り組んでいきたい。

座 長：これまでの財政健全化の取り組みについて、報告を受けたことを確認させていただいた。

(2) 本年度の財政健全化推進協議会の進め方について  
松永財政健全化担当課長より資料6について説明

座 長：ただいま説明のあった件について、何か意見や質問があればお願いしたい。

**【意見なし】**

座 長：それでは、本年度の当協議会の進め方としては、10月下旬～11月上旬に開催する第2回で各会派からの提案をいただいた上で、協議を行っていくということを確認させていただく。

5. その他

座 長：何か意見があればお願いしたい。

【意見なし】

座長：次回の開催日程については10月下旬～11月上旬を予定しているが、後日調整させていただきたい。以上をもって本日の協議会を終了する。

閉 会